

年少組『手洗い教室』 「きれいにあらえたかな？」

新型コロナウイルスの第7波が落ち着いてきたようで、少しホッとしています。

でも、これから冬にかけて様々な感染症が流行り始めます。気を抜かずに感染症対策を続けていかなければいけません。対策の中でも「手洗い」は有効です。

幼稚園では、登園したら遊び始める前にまず手洗いをします。食事の前、トイレの後、外遊びの後、一日に何度も手を洗いますが、なんとなく洗っているだけでは、意味がありません。そこで、今日は年少組さんが『手洗い教室』で正しい手洗いを学びました！



年少児さんが1クラスずつ遊戯室に集まり、『手洗い教室』が始まりました。『花王』のお二人が先生です。

「ばい菌やウイルスが体に入ると熱が出たり咳が出たりするけど、ばい菌やウイルスってどこから体に入るのでしょ？」の問いかけにどんな反応があるかとみていましたが、子ども達から「くち！」の返事が聞こえてきました。口以外にも、目や鼻からも入ることを教えていただき、目・鼻・口はつつい手で触ってしまうので手洗いが大切なのだということを学びました。

「手洗いはいつしたらいいのかな？」と尋ねられると、「トイレの後」「ごはんの前」「外から帰ったとき」と次々に正解。手洗いの習慣が随分身についてきているようです。

次に、正しい手洗いの仕方を『あわあわ手洗いのうた』に合わせて確認しました。子ども達は事前にこの歌の動画を見て練習をしていましたので、覚えて歌っている子もいました。

※『あわあわ手洗いのうた』はこちら↓のページでご覧になれます。

<https://www.kao.co.jp/bioreu/family/hand/song/>



③

上手な手洗いのための6つのポーズを、一つずつ確認中。
これは親指をしっかりと洗う『バイクのポーズ』。親指をバイクのハンドルに見立て、反対の手で握ってグリグリ。上手にできていますね。



④

お話を聞いた後は、みんなで手洗い。

手洗いチェック用のローションを手に塗り『ブラックボックス』という箱に手を入れ特殊なライトをあてると、ローションが青く光ります。手洗いでこのローションを落とします。

『あわあわ手洗いのうた』を思い出しながら、しっかりと手を洗いました。

手洗い後、もう一度ブラックボックスに手を入れて、青く光らなければきれいに洗えています。「きれいに落ちてるよ!」「指先に少し残っているから、もう一度洗ってみようね。」と一人ひとりに声をかけていただきました。

最後に「お家の人にも手洗いの仕方を教えてね。」と言われると、一斉に「はい!」と手が挙がっていましたが、いかがでしたか?まだお話を聴いていないご家庭は、是非お子様に尋ねてみてくださいね。

幼稚園でも、「しっかりと洗おうね!」と子ども達への声掛けを続けていきます。基本的な感染症対策を続け、これからやってくる冬のシーズンも元気に乗り切りましょう!



⑤